





**SURROUND SPEAKERS**


## 安全およびセキュリティ上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

 Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。[www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance)

 この製品は、すべての適用される電磁両立規則2016およびその他すべての適用される英国の規制に準拠しています。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。[www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance)

Bose Corporationはここに、この製品が無線機器規則2017の必須要件およびその他すべての適用される英国の規制に準拠していることを宣言します。完全な適合宣言書については、次のサイトを参照してください。[www.Bose.com/compliance](http://www.Bose.com/compliance)

## 安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要なときにご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。製造元の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11.  メーカーが指定する、または製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には転倒による負傷が起きないように十分注意してください。
12. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
13. 修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- 水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

- 許可なく製品を改造しないでください。
- インバータ電源は使用しないでください。
- 車内や船上などで使用しないでください。
- この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- 万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。
- 空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。

**注:** 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示通りに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていると確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをお勧めします。

- 受信アンテナの向きや位置を変える。
- 本機と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります：  
 (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できなければなりません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。本機は、ラジエーターと身体の間を20cm以上離して設置して動作させる必要があります。

5150 ~ 5250MHzを使用するこのデバイスは、同一チャンネルの他のシステムへの有害な干渉の恐れを低減するため、屋内専用です。

### CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

### 製品の電力状態

本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、以下の規範または文書に準拠しています。Regulation (EC) No. 1275/2008、改正版Regulation (EU) No. 801/2013

電力状態に関する必須情報	電力モード	
	スタンバイ	ネットワーク待機
当該電力モードでの消費電力(230V/50Hz入力)	≤ 0.5W	Bose ワイヤレス ≤ 2.0 W
機器が自動的にモードに切り替わるまでの時間	≤ 2.5時間	≤ 20分
すべての有線ネットワークポートが接続され、すべてのワイヤレスネットワークポートが有効な場合の、ネットワーク待機モードの消費電力(230V/50Hz入力)	N/A	≤ 2.0W
ネットワークポートの有効化/無効化手順。すべてのネットワークを無効にすると、スタンバイモードが有効になります。	Regulation 801/2013 (1275/2008の「Lot 26」改正)のAnnex II 3(a)に従い、ワイヤレスポートを無効化するための要件は、「単一のワイヤレスネットワーク接続を使用目的とし、有線ネットワーク接続機能のない製品には適用されません。」	

## ヨーロッパ向け:

運用周波数 2400 ~ 2483.5 MHz、5150 ~ 5350 MHz、および 5470 ~ 5725 MHz


最大送信出力 20 dBm EIRP 未満


運用周波数帯: 5725 ~ 5850 MHz

最大送信出力 14 dBm (25mW) EIRP 未満

最大送信出力が規制値を下回っているため、SARテストは不要で、適用される規制ごとに免除されます。

このデバイスを 5150 ~ 5350 MHz の周波数範囲で運用する場合、表に記載されているすべての EU 加盟国で屋内使用に限定されています。

									
BE	DK	IE	UK(NI)	FR	CY	SK	HU	AT	SE
BG	DE	PT	EL	HR	LV	LT	MT	PL	
CZ	EE	FI	ES	IT	RO	LU	NL	SI	

 この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることとなります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

## 低電力無線デバイスの管理規制

### 第12条


「低電力無線デバイスの管理規制」により、会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。

### 第14条

低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまでただちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信法に基づいて運用される無線通信を意味します。

低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できなければなりません。

## 中国における有害物質の使用制限表

有毒/有害物質または成分の名称および含有量						
パーツ名	有毒/有害物質および成分					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (CR(VI))	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	X	0	0	0	0	0
金属パーツ	X	0	0	0	0	0
プラスチック パーツ	0	0	0	0	0	0
スピーカー	X	0	0	0	0	0
ケーブル	X	0	0	0	0	0
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。						
0: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。						
X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有害/有害物質が、GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。						

## 台湾における有害物質の使用制限表

機器名: Powered Speaker、型式: 429148						
ユニット名	制限される物質および化学記号					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr+6)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)
PCB	-	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
プラスチック パーツ	○	○	○	○	○	○
スピーカー	-	○	○	○	○	○
ケーブル	-	○	○	○	○	○
注1:「○」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。						
注2:「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

**製造日:** シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「1」は2011年または2021年です。

**中国における輸入元:** Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Part C, Plant 9, No. 353 North Riyang Road, China (Shanghai) Pilot Free Trade Zone

**EUにおける輸入元:** Bose Products B.V., Gorslaan 60, 1441 RG Purmerend, The Netherlands

**台湾における輸入元:** Bose Taiwan Branch, 9F-A1, No. 10, Section 3, Minsheng East Road, Taipei City 104, Taiwan  
Phone Number: +886-2-2514 7676

**メキシコにおける輸入元:** Bose de México, S. de R.L. de C.V., Paseo de las Palmas 405-204, Lomas de Chapultepec, 11000 México, D.F. Phone Number: +5255 (5202) 3545

**英国における輸入元:** Bose Limited, Bose House, Quayside Chatham Maritime, Chatham, Kent, ME4 4QZ, United Kingdom

**入力定格:** 100V ~ 240V ~ 50/60 Hz 30W

CMIIIT IDは製品の底面にあります。

### 製品情報の控え


シリアル番号とモデル番号は、ワイヤレスレシーバーの底面に記載されています。

シリアル番号: \_\_\_\_\_

モデル番号: \_\_\_\_\_

この取扱説明書と共に、ご購入時の領収書を保管することをお勧めします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。

### セキュリティ情報

 この製品は、Boseから自動セキュリティアップデートを受信することができます。自動セキュリティアップデートを受信するには、Bose Musicアプリで製品のセットアップを完了し、製品をインターネットに接続する必要があります。**セットアップを完了しない場合は、Boseが公開するセキュリティアップデートをお客様ご自身でインストールする必要があります。**

AppleおよびAppleのロゴはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

GoogleおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Bose、Bose Music、Bose Musicのロゴ、Bose Smart Soundbar、Bose Surround Speakers、SoundTouch、および音符と無線電波を組み合わせたデザインはBose Corporationの登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2021 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

The following license disclosure applies to the FreeRTOS software package that is included as a component of your Bose Surround Speaker product:

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN-CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.



## 内容物の確認

内容物 .....	11
-----------	----

## システムの設置

推奨事項 .....	12
スピーカーを設置する .....	13

## ワイヤレスレシーバーのセットアップ

アダプターを接続する .....	14
ワイヤレスレシーバーのスイッチを確認する .....	15
スピーカーを接続する .....	15

## 電源

Bose Surround Speakersを電源に接続する .....	16
--------------------------------------	----

## サウンドバーへの接続

接続方法を選択する .....	17
Bose Musicアプリを使用して接続する .....	18
Bose Musicアプリを初めて使用する場合 .....	18
SoundTouch 300のリモコンを使用して接続する .....	19
音が出ることを確認する .....	19

## サラウンドスピーカーの状態

ステータスインジケータ .....	20
-------------------	----

**補足事項**

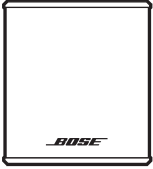
お手入れについて..... 21  
交換部品とアクセサリ ..... 21  
保証 ..... 21

**トラブルシューティング**

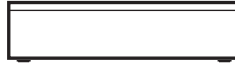
最初にお試しいただくこと ..... 22  
その他の対処方法..... 22  
サウンドバーの取扱説明書の参照先..... 24

## 内容物

下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



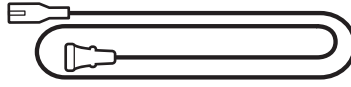
Bose Surround Speakers (2)



ワイヤレスレシーバー (2)



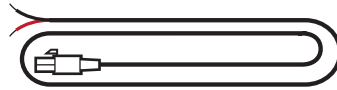
AC2アダプター (2)



電源コード (2)\*



プラスドライバー



2芯スピーカークーブル(2)

\*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

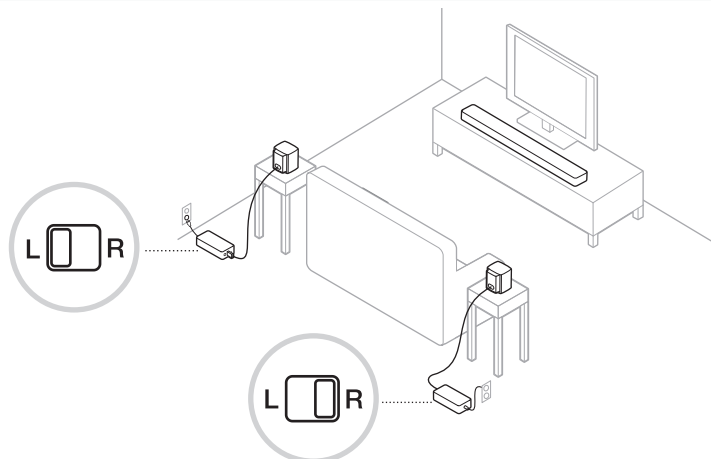
**注:** 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

次のサイトをご参照ください: [worldwide.Bose.com/Support](http://worldwide.Bose.com/Support)

## 推奨事項

ワイヤレス信号の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から 30 ~ 90 cm ほど離れた場所にワイヤレスレシーバーを設置してください。スピーカーとワイヤレスレシーバーは金属製キャビネットや他の AV 機器、熱源などから離れた場所に設置してください。また、キャビネットの中には置かないでください。

コンポーネント	設置ガイド
リアスピーカー	<p>スピーカーは、ゴムベース面を下にして安定した水平な面に設置してください。</p> <p>部屋の後ろ側で、耳の高さと同じか、それより高い位置に設置してください。</p> <p>本棚のような囲まれた場所にスピーカーを置く場合は、棚の前面端に合わせて設置してください。</p> <p>リスナーに音が直接伝わるようにする場合は、スピーカーをリスナーに向けて設置します。</p> <p>壁の反射を利用する場合は、リスナーの後方または横にある壁に向けてスピーカーを設置します。</p>
ワイヤレスレシーバー	<p>一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが <b>R</b> (右) になっていることを確認します。</p> <p>もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが <b>L</b> (左) になっていることを確認します。</p> <p>テレビに向かって、部屋の<b>右側</b>にスピーカーと<b>R</b>側のワイヤレスレシーバーを設置します。</p> <p>テレビに向かって、部屋の<b>左側</b>にスピーカーと<b>L</b>側のワイヤレスレシーバーを設置します。</p> <p>電源コンセントが近くにある場所にワイヤレスレシーバーを設置してください。</p>



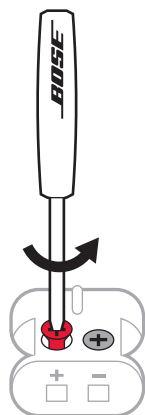
## スピーカーを設置する

スピーカーは、壁掛けブラケット、天井用ブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリーにつきましては、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めください。

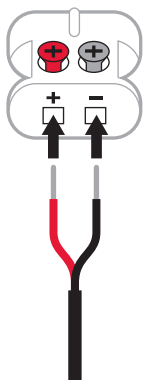
**注意:** スピーカーを設置する際は、ボーズ純正のアクセサリーのみを使用してください。純正以外のアクセサリーを使用すると、システムやコンポーネントを破損する恐れがあります。

## アダプターを接続する

1. ドライバーを使用して、ネジを左(反時計回り)に回して端子を緩めます。



2. 2芯ケーブルの赤い方(+ マークのある方)の先バラ線を赤の + 端子に差し込みます。
3. 2芯ケーブルの黒い方の先バラ線をシルバーの - 端子に差し込みます。



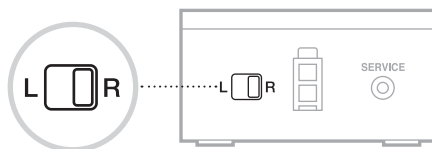
**注:** ケーブルの被膜部分を端子で挟まないように、剥き出しになったワイヤー部分のみを端子に差し込んでください。

4. ドライバーを使用して、ネジを右(時計回り)に回してケーブルを端子に固定します。
5. 手順1から3を繰り返して、もう1個のアダプターも取り付けます。

## ワイヤレスレシーバーのスイッチを確認する

スピーカーは、接続されたワイヤレスレシーバーを介してサウンドバーと通信します。レシーバーは工場出荷時にあらかじめL(左)側とR(右)側のチャンネルに設定されています。チャンネルの設定は、レシーバーの前面にあるスイッチを切り替えることによって変更できます。

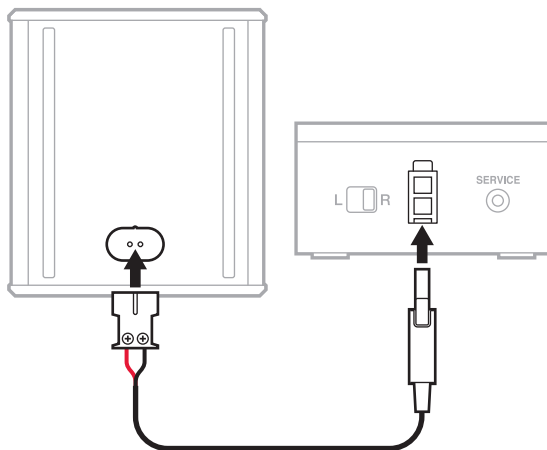
1. 一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**L(左)**になっていることを確認します。
2. もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**R(右)**に設定されていることを確認します。



**注:** 必ず、1台のワイヤレスレシーバーを**L(左)**チャンネルに、もう1台を**R(右)**チャンネルに設定してください。

## スピーカーを接続する

1. スピーカー背面の端子にアダプターを差し込みます。
2. 2芯ケーブルの反対側をワイヤレスレシーバーに差し込みます。

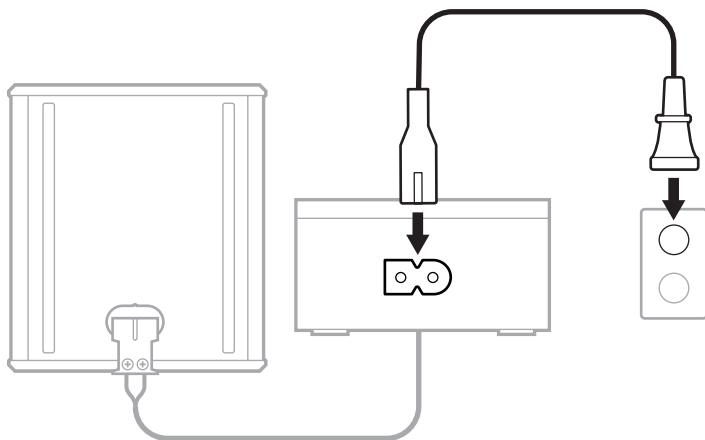


しっかり差し込むと、カチッと音が聞こえるか、指先に感触があります。

3. 手順1～2を繰り返して、もう一方のスピーカーも接続します。

## BOSE SURROUND SPEAKERSを電源に接続する

1. ワイヤレスレシーバーに電源ケーブルを接続します。





2. 電源コードの反対側を、壁のコンセントに差し込みます。
3. 手順1～2を繰り返して、もう一方のスピーカーも電源に接続します。



## 接続方法を選択する

サラウンドスピーカーを接続する方法は、サウンドバーによって異なります。下の表から、接続方法を選択してください。

サウンドバー	接続方法
<b>Bose Smart Soundbar (音声操作対応サウンドバー)</b> 	Bose Musicアプリを使用して接続します(18ページを参照)。 <b>注:</b> Bose Musicアプリを使用してアクセスできない、または接続に問題がある場合は、「トラブルシューティング」(22ページ)をご覧ください。
<b>SoundTouch 300 soundbar</b> 	サウンドバーのリモコンを使用して接続します(19ページを参照)。

## BOSE MUSICアプリを使用して接続する

1. Bose Musicアプリで、サウンドバーを選択します。
2. [設定]メニューに移動して、Surround Speakersを追加します。



## Bose Musicアプリを初めて使用する場合

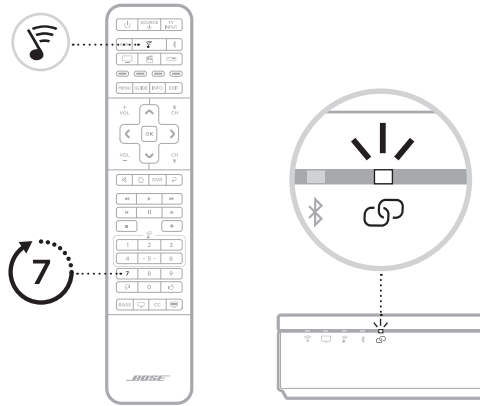
1. モバイル機器でBose Musicアプリをダウンロードします。




2. アプリの手順に従ってください。

## SOUNDTOUCH 300のリモコンを使用して接続する

1. サウンドバーのリモコンのSoundTouch ボタン  を押します。
2. サウンドバーの接続インジケータ  が白に点滅するまで 7 ボタンを長押しします。



接続すると、ビープ音が聞こえます。ワイヤレスレシーバーの背面にあるインジケータとサウンドバーの  インジケータが白に点灯します。

**注:** 接続には数分かかる場合があります。

サラウンドスピーカーとサウンドバーを接続できない場合は、22ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

## 音が出ることを確認する

**注:** 音響パフォーマンスを十分にお楽しみいただくためには、テレビの内蔵スピーカーをオフにしてください。詳細については、テレビの取扱説明書をご覧ください。

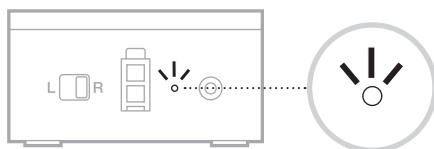
1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/BS/CS用チューナーやその他の外部機器を使用する場合:
  - a. ソース機器の電源をオンにします。
  - b. 機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。
3. サウンドバーの電源をオンにします。

サラウンドスピーカーから音が出ていることを確認します。

**注:** サラウンドスピーカーから音が出ない場合は、23ページの「トラブルシューティング」をご覧ください。

## ステータスインジケータ

ワイヤレスレシーバー背面のインジケータには、システムの状態が表示されます。



インジケータの状態	システムの状態
白の点灯	サウンドバーに接続されています
白の点滅	ソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
オレンジの点灯(暗い)	サウンドバーへの接続が解除されています
オレンジの点滅	サウンドバーに接続できません
赤の点滅	エラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

## お手入れについて

サラウンドスピーカーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。

### 注意:

サラウンドスピーカーの上に液体がこぼれたり、開口部に液体が入り込んだりしないようにしてください。

サラウンドスピーカーの近くでスプレーを使用しないでください。

溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。

開口部に異物が入り込まないようにしてください。

## 交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、ボーズ製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: [worldwide.Bose.com/Support](http://worldwide.Bose.com/Support)

## 保証

製品保証の詳細は弊社Webサイトをご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイトから簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

## 最初にお試しいただくこと

サラウンドスピーカーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

ワイヤレスレシーバーとサウンドバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントに差し込みます。

すべてのケーブルをしっかりと接続します。

ワイヤレスレシーバーのステータスインジケータを確認します(20ページを参照)。

サラウンドスピーカーとサウンドバーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。

設置ガイドに沿ってサラウンドスピーカーを設置します(12ページを参照)。

## その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: [worldwide.Bose.com/contact](http://worldwide.Bose.com/contact)

症状	対処方法
モバイル機器で Bose Music アプリが動作しない	お使いのモバイル機器が Bose Music アプリに対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、モバイル機器のアプリストアをご参照ください。
サラウンドスピーカーとサウンドバーを接続できない	ステータスインジケータがオレンジに点滅し、ワイヤレスレシーバーが接続可能な状態であることを確認します(20ページを参照)。 接続の手順を繰り返します(17ページを参照)。 ワイヤレスレシーバーとサウンドバーの電源コードを抜き、30秒間待ってから、通電している電源コンセントに差し込みます。

症状	対処方法
<p>サラウンドスピーカーの音が途切れる、聞こえない</p>	<p>システムのミュートを解除します。</p> <p>音量を上げます。</p> <p>サウンドバーで音が出ていることを確認します。音が出ていない場合は、サウンドバーの取扱説明書の「トラブルシューティング」の情報をご確認ください(24ページを参照)。</p> <p>ステータスインジケーターが白に点灯し、サラウンドスピーカーがサウンドバーに接続されていることを確認します(20ページを参照)。</p> <p>別の接続機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>再生する音声サラウンドに対応しているかどうかを確認します。</p> <p><b>注:</b> ほとんどの音楽や一部のテレビ番組はステレオで録音されており、サラウンドスピーカーから再生するための音声は割り当てられていません。</p> <p>テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します(テレビの取扱説明書をご覧ください)。</p> <p>接続の手順を繰り返します(17ページを参照)。</p> <p>一方のワイヤレスレシーバーが<b>L</b>(左)チャンネルに設定され、もう一方が<b>R</b>(右)チャンネルに設定されていることを確認します(15ページを参照)。</p> <p>赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。</p> <p>設置ガイドに沿ってサラウンドスピーカーを設置します(12ページを参照)。</p>
<p>サラウンドスピーカーの音質が良くない、音が歪む</p>	<p>別の接続機器で試してみます(可能な場合)。</p> <p>設置ガイドに沿ってサラウンドスピーカーを設置します(12ページを参照)。</p> <p>赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。</p> <p>スピーカーをキャビネット内や棚に置く場合は、最適なオーディオ性能を得るために、できるだけ棚の前面に近づけてください。</p>

## サウンドバーの取扱説明書の参照先

サウンドバーに関する手順とトラブルシューティングについては、サウンドバーの取扱説明書をご覧ください。次のサイトをご参照ください。

**Bose Smart Soundbar:** [worldwide.bose.com/Support](https://worldwide.bose.com/Support)

**SoundTouch 300 soundbar:** [global.bose.com/Support/ST300](https://global.bose.com/Support/ST300)



